

(第 30 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 6 年 4 月～6 月期)

今期の景況感調査では、前々回の回復傾向から景況の低調な結果となった前回の調査に引き続き、全体的に停滞感が漂う低調な結果となった。

はじめに今期の実働率と実車率について見てみると、どちらも「上昇」との回答が今期も減少しているが、「低下」との回答はともに減少し、さらに「横ばい」との回答がともに増えていることから、実働率と実車率の悪化については鈍化しつつも低調な中で推移していることが見受けられた。

次に輸送数量全体を見てみると、こちらは前期と大きな変化がないものの、「全体的に荷動きが悪い」「メーカーの製造が動いていない」との声や「円安による輸出業務増、インバウンド需要増」との声など、業態により需要の格差が見受けられた。

ドライバーの過不足の状況について見てみると、「ドライバーが不足している」との回答は三期連続で減少し、「やや過剰」との回答が増加しているが、荷動きの停滞により、一時的に充足していることも見受けられ、未だ半数以上が「不足」と回答しているようにドライバー不足は引き続き深刻な問題である。

次に営業収入と営業利益について見てみると、営業収入は「増加」と「変わらない」が減少し、「減少」が増加しているものの、営業利益については、「増加」だけでなく「減少」も減少し、「変わらない」が増加との回答が増えていた。輸送数量や営業収益が減少しているにもかかわらず、営業利益は大きく変化していないことが見受けられる結果となった。

また、運賃・料金の水準について見てみると、「やや上昇」との回答が増加し、「横ばい」との回答は5割を超えて依然として多いものの減少しており、3月に告示された新たな標準的な運賃も後押しとなり堅調に推移しているようであったが、荷主交渉が上手く進んでいない事業者についても引き続き粘り強い交渉が必要である。

今期の水準について見てみると、「ふつう」と回答した事業者が大きく減少し、「悪い」との回答が増加しており、厳しい状況が見受けられた。

また、前回に引き続き適正運賃の収受について調査したところ、標準的な運賃を提示している事業者が21.8%、標準的な運賃を考慮した自社運賃を提示している事業者が49.1%であった。「運賃・料金」の改定における原価の反映については、今年3月に告示された新たなトラックの標準的運賃において、燃料高騰分や荷役の対価等を新たに加算する仕組みが取り入れられましたが、「実費」や「付帯業務」が反映できたとの回答が増加した一方で、「燃料費」が反映されたとの回答が51.7%から43.6%へと減少した結果となっており、4月よりドライバーの時間外労働時間の規制が強化された今、ドライバーの賃上げの原資となる適正運賃を収受できるよう、今一度、荷主との交渉が重要である。

令和 6 年 8 月 1 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第30回）

令和6年4月～6月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	18	社	32.7%	51～100人	4	社	7.3%
11～20人	14	社	25.5%	101～300人	3	社	5.5%
21～30人	9	社	16.4%	301人～	2	社	3.6%
31～50人	4	社	7.3%	未回答	1	社	1.8%

2. 女性ドライバー数

55 社中 16 社 平均人数 3.6 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	12	社	21.8%	51～100両	3	社	5.5%
11～20両	18	社	32.7%	101～300両	2	社	3.6%
21～30両	7	社	12.7%	301両～	3	社	5.5%
31～50両	8	社	14.5%	未回答	2	社	3.6%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0 社	0 社	0 社
2. 生鮮食品	1 社	0 社	0 社
3. 加工食品	3 社	4 社	1 社
4. 飲料・酒	2 社	1 社	1 社
5. 原木・材木等の林産品	1 社	0 社	0 社
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	0 社	1 社	1 社
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	5 社	2 社	0 社
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	10 社	4 社	1 社
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0 社	1 社	1 社
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1 社	5 社	2 社
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0 社	1 社	0 社
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	1 社	0 社	0 社
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	3 社	3 社	2 社
14. 医療品	2 社	1 社	1 社
15. その他の化学製品	4 社	4 社	2 社
16. 紙・パルプ・印刷物	3 社	1 社	3 社
17. 糸・反物等の繊維素材	1 社	0 社	0 社
18. 衣類・布団等の繊維製品	0 社	0 社	0 社
19. 日用品	3 社	0 社	6 社
20. 引越荷物	0 社	0 社	0 社
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品	2 社	8 社	3 社
22. 機械ユニット・半製品	2 社	2 社	3 社
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	3 社	1 社	2 社
24. 家電・民生用機械	0 社	0 社	0 社
25. 完成自動車・オートバイ	1 社	0 社	0 社
26. 再生資源・スクラップ	0 社	0 社	0 社
27. 廃棄物	0 社	0 社	0 社
28. 宅配便・特積貨物	0 社	0 社	1 社
29. 空容器・返送資材	0 社	1 社	2 社
30. その他	0 社	1 社	7 社
31. 未回答	7 社	14 社	29 社

ドライバー人数	社数	割合
1～10人	18	32.7
11～20人	14	25.5
21～30人	9	16.4
31～50人	4	7.3
51～100人	4	7.3
101～300人	3	5.5
301以上	2	3.6
未回答	1	1.8

女性ドライバー	
人数	58
社数	16
割合	29.1
平均人数	3.6

保有台数	社数	割合
1. 1～10台	12	21.8
2. 11～20台	18	32.7
3. 21～30台	7	12.7
4. 31～50台	8	14.5
5. 51～100台	3	5.5
6. 101～300台	2	3.6
7. 301台以上	3	5.5
0. 未回答	2	3.6

事業内容	
特積み宅配	0
特積み宅配以外	3
一般	51
未回答	1

取り扱い品目	1 位	2 位	3 位
1. 米・麦・穀物	0	0	0
2. 生鮮食品	1	0	0
3. 加工食品	3	4	1
4. 飲料・酒	2	1	0
5. 原木・材木等の林産品	1	0	0
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	0	1	1
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	5	2	0
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	10	4	2
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0	1	0
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1	5	1
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0	1	0
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	1	0	0
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	3	3	0
14. 医療品	2	1	1
15. その他の化学製品	4	4	2
16. 紙・パルプ・印刷物	3	1	4
17. 糸・反物等の繊維素材	1	0	0
18. 衣類・布団等の繊維製品	0	0	2
19. 日用品	3	0	4
20. 引越荷物	0	0	2
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加	2	8	1
22. 機械ユニット・半製品	2	2	1
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	3	1	3
24. 家電・民生用機械	0	0	2
25. 完成自動車・オートバイ	1	0	0
26. 再生資源・スクラップ	0	0	1
27. 廃棄物	0	0	0
28. 宅配便・特積貨物	0	0	0
29. 空容器・返送資材	0	1	0
30. その他	0	1	2
31. 未回答	7	14	25
合計	55	55	55

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和6年4月～6月期)

※55社回答

	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
実働率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	1	1.8%	10	18.2%	26	47.3%	15	27.3%	2	3.6%	1	1.8%
前期比	1	1.8%	7	12.7%	31	56.4%	13	23.6%	2	3.6%	1	1.8%
先行き	0	0.0%	10	18.2%	31	56.4%	11	20.0%	2	3.6%	1	1.8%

実車率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	14.5%	31	56.4%	13	23.6%	2	3.6%	1	1.8%
前期比	0	0.0%	6	10.9%	34	61.8%	12	21.8%	2	3.6%	1	1.8%
先行き	0	0.0%	8	14.5%	33	60.0%	12	21.8%	1	1.8%	1	1.8%

ドライバーの過不足	1.不足		2.やや不足		3.適当		4.やや過剰		5.過剰		6.未回答	
今期の状況	10	18.2%	22	40.0%	19	34.5%	4	7.3%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	18	32.7%	25	45.5%	10	18.2%	2	3.6%	0	0.0%	0	0.0%

ドライバーの採用状況	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	7	12.7%	41	74.5%	4	7.3%	3	5.5%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	4	7.3%	43	78.2%	5	9.1%	3	5.5%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	5	9.1%	35	63.6%	10	18.2%	5	9.1%	0	0.0%

ドライバー以外の過不足	1.不足		2.やや不足		3.適当		4.やや過剰		5.過剰		6.未回答	
今期の状況	2	3.6%	20	36.4%	29	52.7%	3	5.5%	0	0.0%	1	1.8%
先行き	7	12.7%	17	30.9%	29	52.7%	1	1.8%	0	0.0%	1	1.8%

ドライバー以外の採用状況	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	1	1.8%	49	89.1%	2	3.6%	2	3.6%	1	1.8%
前期比	0	0.0%	2	3.6%	50	90.9%	0	0.0%	2	3.6%	1	1.8%
先行き	0	0.0%	4	7.3%	42	76.4%	6	10.9%	2	3.6%	1	1.8%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	2	3.6%	28	50.9%	22	40.0%	3	5.5%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	3	5.5%	31	56.4%	20	36.4%	1	1.8%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	1	1.8%	36	65.5%	18	32.7%	0	0.0%	0	0.0%

貨物の再委託の割合	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	9	16.4%	28	50.9%	14	25.5%	2	3.6%	2	3.6%
前期比	0	0.0%	8	14.5%	25	45.5%	17	30.9%	3	5.5%	2	3.6%
先行き	0	0.0%	7	12.7%	29	52.7%	14	25.5%	3	5.5%	2	3.6%

経常損益	1.大幅に好転		2.やや好転		3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	12	21.8%	24	43.6%	18	32.7%	1	1.8%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	8	14.5%	27	49.1%	19	34.5%	1	1.8%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	9	16.4%	28	50.9%	17	30.9%	1	1.8%	0	0.0%

業界の景況感	1.大幅に好転		2.やや好転		3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	5	9.1%	24	43.6%	22	40.0%	4	7.3%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	2	3.6%	25	45.5%	23	41.8%	5	9.1%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	6	10.9%	23	41.8%	19	34.5%	7	12.7%	0	0.0%

今期の水準	1.良い		2.ふつう		3.悪い		4.未回答	
	5	9.1%	25	45.5%	23	41.8%	2	3.6%

輸送数量全体	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	14.5%	23	41.8%	17	30.9%	3	5.5%	4	7.3%
前期比	0	0.0%	10	18.2%	21	38.2%	18	32.7%	3	5.5%	3	5.5%
先行き	0	0.0%	6	10.9%	26	47.3%	14	25.5%	6	10.9%	3	5.5%

取扱い1位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.8%	11	20.0%	19	34.5%	15	27.3%	2	3.6%	7	12.7%
前期比	1	1.8%	10	18.2%	18	32.7%	16	29.1%	3	5.5%	7	12.7%
先行き	0	0.0%	8	14.5%	21	38.2%	16	29.1%	3	5.5%	7	12.7%

取扱い2位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.8%	6	10.9%	22	40.0%	11	20.0%	1	1.8%	14	25.5%
前期比	0	0.0%	5	9.1%	21	38.2%	14	25.5%	1	1.8%	14	25.5%
先行き	0	0.0%	3	5.5%	24	43.6%	12	21.8%	2	3.6%	14	25.5%

取扱い3位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.8%	7	12.7%	12	21.8%	10	18.2%	1	1.8%	24	43.6%
前期比	0	0.0%	6	10.9%	14	25.5%	9	16.4%	2	3.6%	24	43.6%
先行き	0	0.0%	3	5.5%	13	23.6%	14	25.5%	1	1.8%	24	43.6%

営業収入(売上高)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	13	23.6%	19	34.5%	19	34.5%	1	1.8%	3	5.5%
前期比	0	0.0%	10	18.2%	22	40.0%	18	32.7%	2	3.6%	3	5.5%
先行き	0	0.0%	9	16.4%	24	43.6%	18	32.7%	1	1.8%	3	5.5%

営業利益	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.8%	9	16.4%	25	45.5%	14	25.5%	3	5.5%	3	5.5%
前期比	0	0.0%	8	14.5%	25	45.5%	17	30.9%	2	3.6%	3	5.5%
先行き	0	0.0%	7	12.7%	26	47.3%	18	32.7%	1	1.8%	3	5.5%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	19	34.5%	28	50.9%	5	9.1%	0	0.0%	3	5.5%
前期比	0	0.0%	17	30.9%	31	56.4%	4	7.3%	0	0.0%	3	5.5%
先行き	0	0.0%	18	32.7%	30	54.5%	3	5.5%	1	1.8%	3	5.5%

適正運賃の収受について

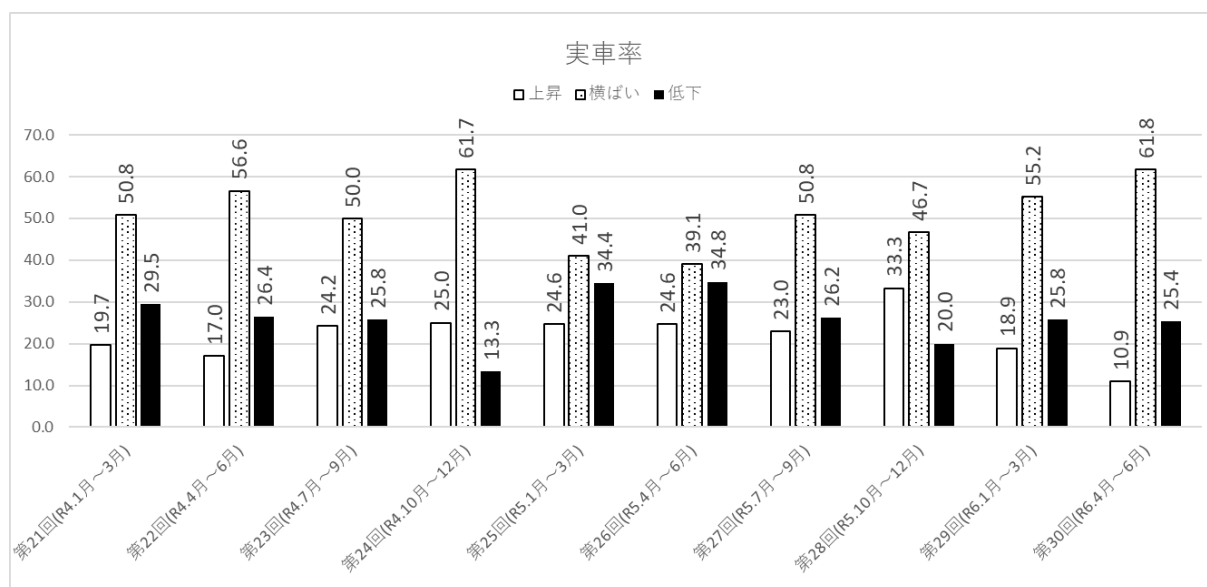
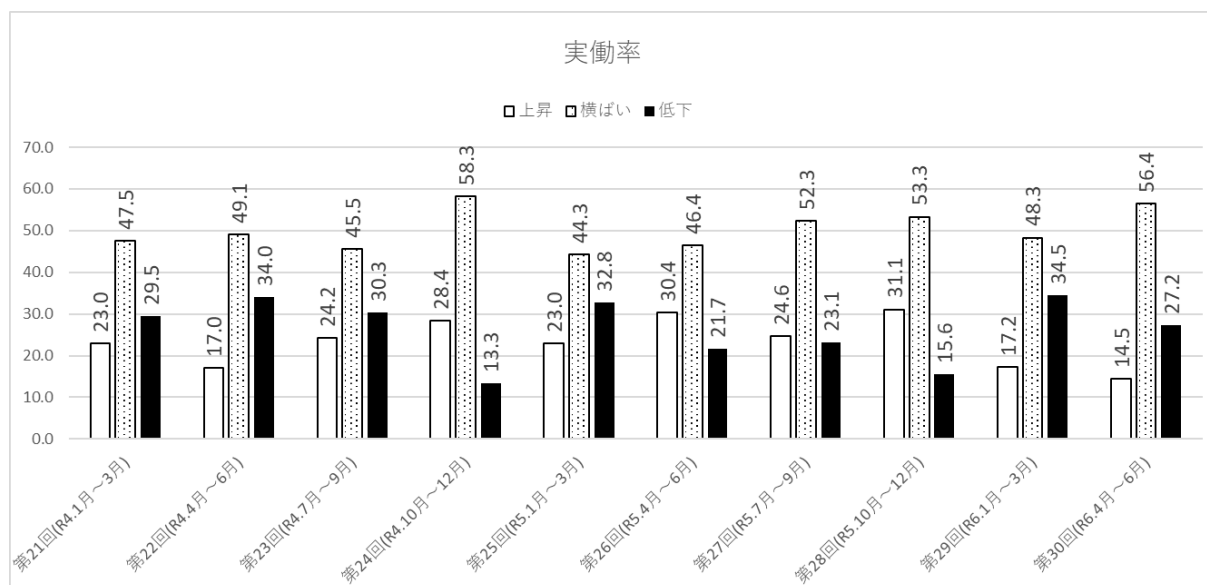
運賃交渉の状況	標準的な運賃を提示		標準的な運賃を考慮した自社運賃を提示		具体的な値上げ額や値上げ率を提示		提示していない(既存の自社運賃)		未回答	
	12	21.8%	27	49.1%	23	41.8%	8	14.5%	0	0.0%

原価の反映	人件費		固定費		燃料費		実費		積み込み料等	
	28	50.9%	16	29.1%	24	43.6%	16	29.1%	5	9.1%

待機料		付帯業務		改定なし		未回答	
15	27.3%	10	18.2%	6	10.9%	0	0.0%

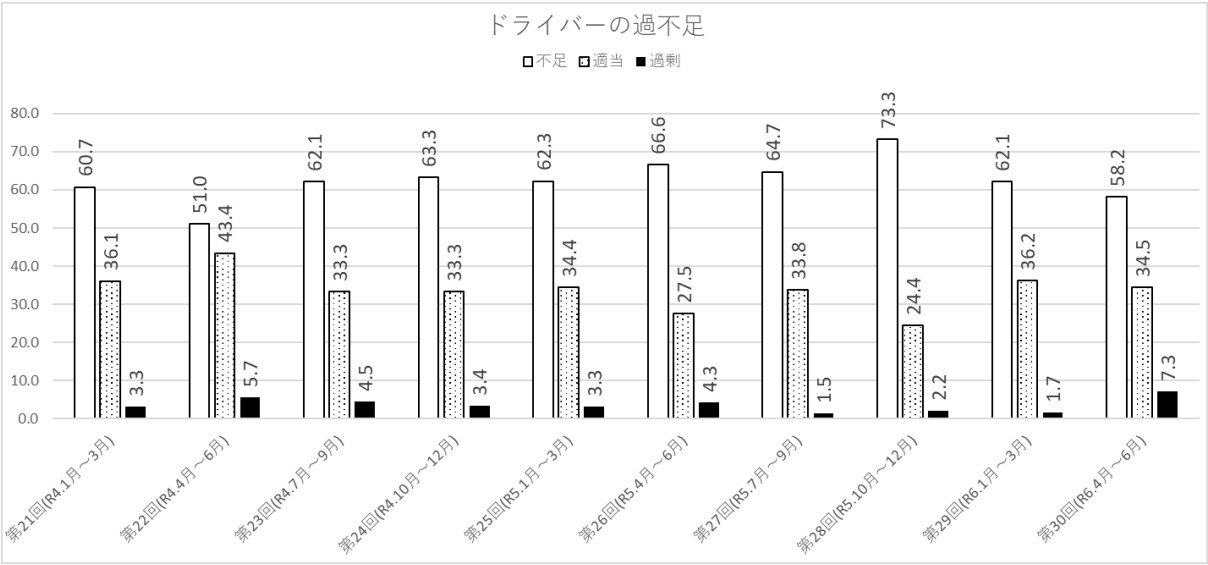
○実働率・実車率

実働率の前期比について、「上昇」が2.7 ㇿ減少し、「横ばい」が8.1 ㇿ微減しており、「低下」は7.3 ㇿ減少した。実車率については「上昇」が8 ㇿ減少し、「横ばい」が6.6 ㇿ増加し、「低下」は0.4 ㇿ微減した。



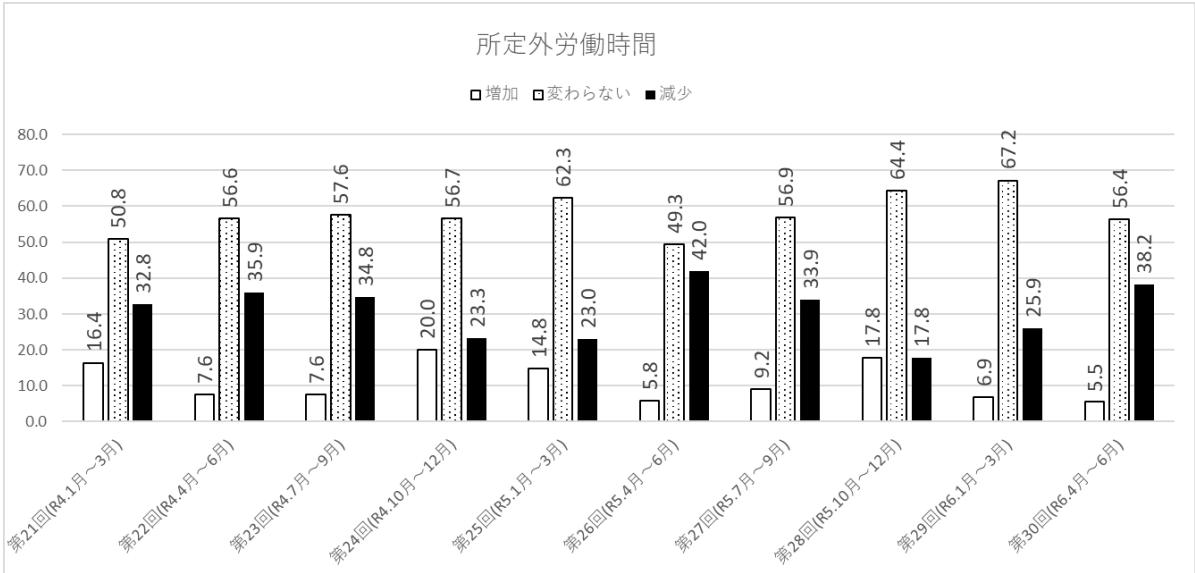
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について今期の状況は、「不足」との回答が 3.9 割減少しているものの未だ半数を超えており、業界の深刻なドライバー不足が見受けられる。



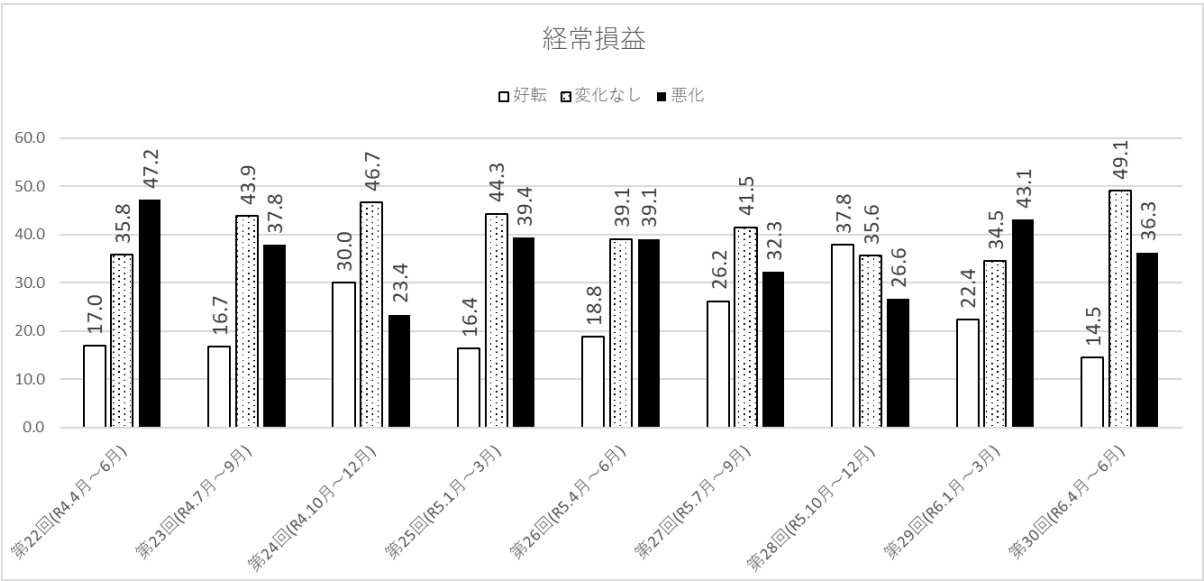
○所定外労働時間

所定外労働時間について、「増加」が 1.4 割、「変わらない」が 10.8 割それぞれ減少し、「減少」が 12.3 割増加していた。荷動きの停滞の影響により一人当たりの所定外労働時間が減少していることが見受けられた。



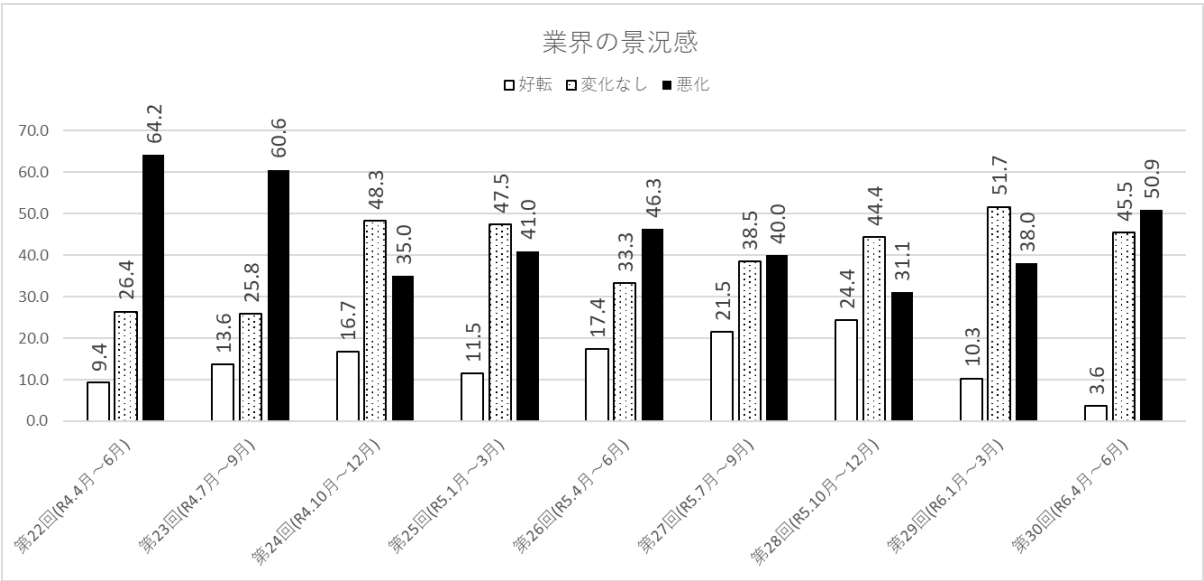
○経常損益

経常損益について、「好転」との回答が 7.9 ㊦減少しており、「悪化」も 6.8 ㊦増加しているものの、「変化なし」との回答が 14.6 ㊦と大幅に増加しており、依然として厳しい状況が見受けられた。



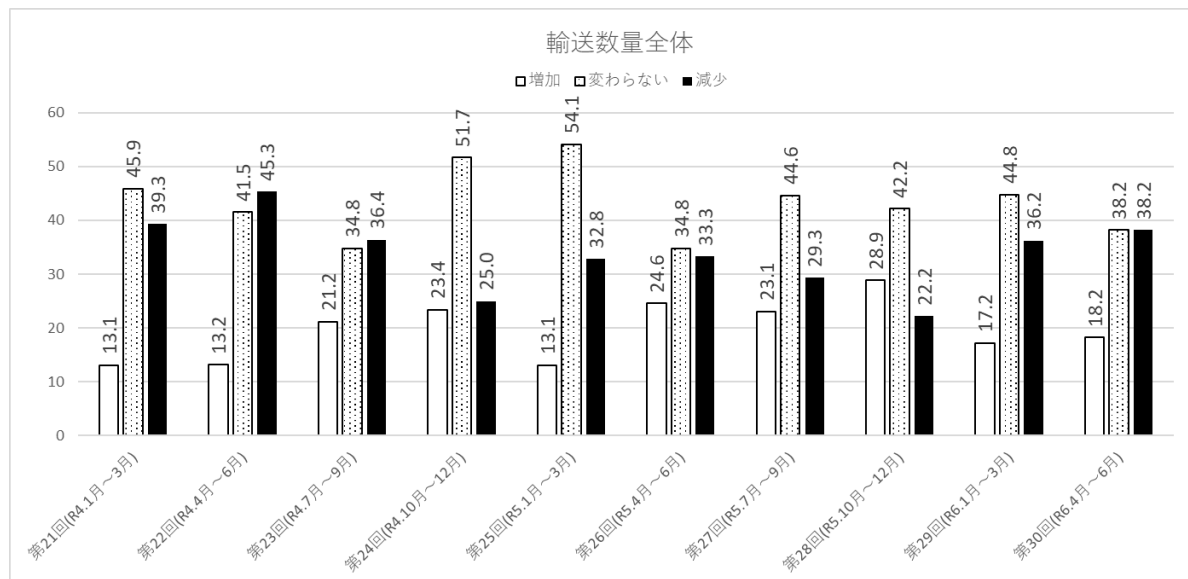
○業界の景況感

業界の景況感について、「好転」が 6.7 ㊦減少しており、「悪化」は 12.9 ㊦増加している。3 期連続で「好転」が大きく減少し、「悪化」が増加しており、業界の景況感の停滞感が見受けられた。



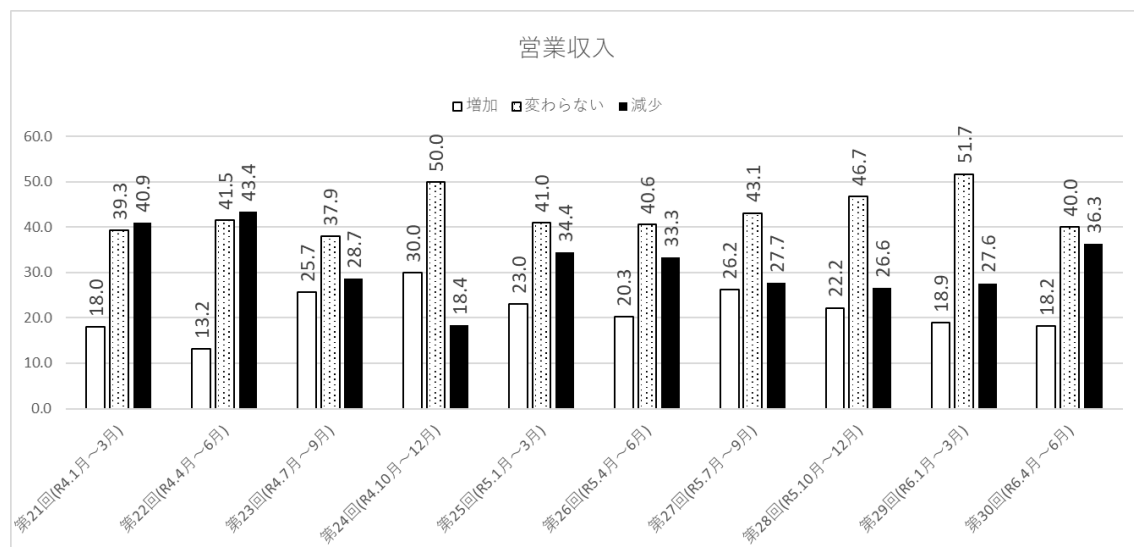
○輸送数量

輸送数量について、「増加」との回答が1 割増加し、「減少」との回答が2 割増加しているものの、前期と大きな変化はなく、引き続き荷動きの停滞感が見受けられた。



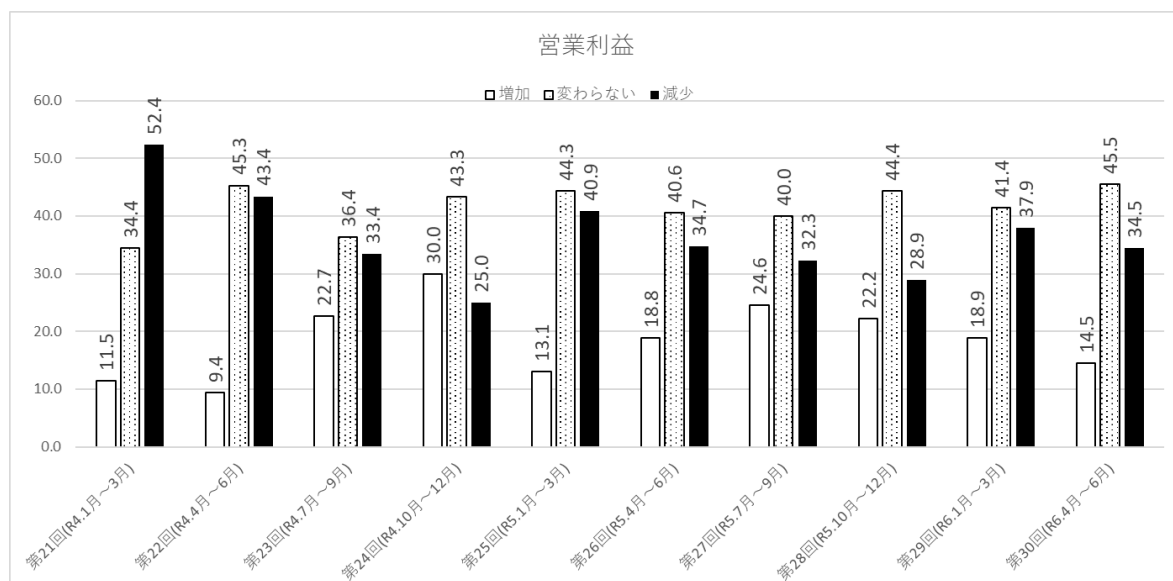
○営業収入

営業収入について、「増加」が0.7 割微減し、「減少」が8.7 割微増しており、事業者の売り上げの悪化が見受けられた。



○営業利益

営業利益について「増加」が4.4 ㊦減少し、「減少」も3.4 ㊦増加しているが、「変わらない」が4.1 ㊦増加し、厳しい状況が続いている。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について、「上昇」との回答が6.8 ㊦増加し、3月に告示された新たな標準的な運賃も踏まえ、運賃・料金の水準は堅調に推移していることが見受けられたものの、「低下」についても微増しており、引き続き運賃交渉が必要である。

